

《東武博物館主催》

向島文化サロン
ご案内

豊臣兄弟

秀吉と秀長

豊臣秀吉と秀長は兄弟だから助け合って…と

安易に想定はできません。

源頼朝、足利尊氏、織田信長らはみな弟を排除しています。

秀吉が他の弟、妹三人を殺害したという話もある。

秀長には大切にされる何かがあった。それを探ります。

第1回 豊臣兄弟の戦い

2025年 **10月19日(日)** 午後2時～3時30分

秀吉は軽い身分から、幾度もの戦いを経て天下人になりました。秀長は常に従っていました。はじめ彼は補給部隊で活躍していましたが、四国・九州攻めでは司令官も任されています。秀吉の戦歴をたどりながら、秀長の役割を見てみます。

第2回 豊臣「兄弟」とは何か

2025年 **11月16日(日)** 午後2時～3時30分

秀吉陣営には「公的なことは秀長が窓口となり、内々のことは千利休が秀吉につなぐ」というルールがありました。秀長は主に内政面で、兄の天下を支えていたと思われます。その職掌の分担の様子を見ていきます。

講師



本郷和人

〔ほんごう・かずと〕1960(昭和35)年 東京都生まれ。東京大学史料編纂所教授。文学博士。東京大学・同大学院で石井進氏・五味文彦氏に師事し日本中世史を学ぶ。中世政治史、古文書学専攻。史料編纂所で「大日本史料」第五編(鎌倉時代)の編纂を担当。著書に「中世朝廷訴訟の研究」(東京大学出版会)、「天皇はなぜ生き残ったか」(新潮社)、「日本史の法則」(河出書房新社)など。

【場所】東武博物館ホール 東武スカイツリーライン 東向島駅下車 【定員】110名(応募多数の場合は抽選)

【参加費】無料 【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募(個別の応募はできません)

【主催】東武博物館

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号を楷書でご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

【宛先】〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25 東武友の会「向島文化サロン」T係

●当選者には応募締切から1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を送付させていただきます。(落選通知はございません。)

※一度に複数名のご応募はできません。(複数名が記入されたハガキは無効となります。)1回の応募で1名様のみ有効となります。

応募締切

2025年9月19日(金) 必着

【お問合せ】 東武友の会 TEL.03-5951-5248 www.tobu-tomonokai.co.jp

向島文化サロン
応募はコチラ▶



※講演のテーマ内容に変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報は、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。